

PRESS RELEASE

GIGA 端末における、ネットいじめや自殺につながる書き込み・検索をブロックし、通知する「見守りフィルター」を拡充

～自殺関連単語は学習用端末でもわずか5日間で10件以上も検索されている～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、Web セキュリティクラウドサービス「i-FILTER@Cloud」GIGA スクール版に搭載している「見守りフィルター」について、「自殺」「家出」といったキーワードなど、管理者が指定する検索単語をブロックしたり、特定の Web サービスに制限をかけるなど、さまざまなルールを設定し、管理者にメール通知できる機能を新たに追加し、11月13日に提供開始したことを発表します。

子どもの自殺者は過去最多、いじめ認知件数は減少しているもののネットいじめは増加

文部科学省の調査によりますと、2020年度に小・中・高校から報告のあった自殺した児童・生徒の数は415人で、前年度の317人から大幅に増え、調査開始以降最多となっていることがわかりました^{※1}。

今回の文部科学省調査では、いじめの認知件数は減少しています。一方で、「パソコンや携帯電話等で、誹謗・中傷や嫌なことをされる」といったネットいじめは年々件数が増加しており、2014年に7,898件だったネットいじめは、2020年には18,870件と過去最多となっています。また、GIGA スクール構想が進展する中、1人1台端末等を使いたいじめが増加する可能性も想定され、文部科学省は「端末の活用におけるルールを明確にし、児童生徒との間で共通理解を図り、教師が児童生徒の書き込みを確認できる設定にするなど、安全かつ効果的に端末を活用できるようにすることが重要である」との通知^{※2}も出しています。

こうした一連の現状を背景に、デジタルアーツは「i-FILTER@Cloud」GIGA スクール版で提供している「見守りフィルター」の機能を拡充しました。従来の「見守りフィルター」では、デジタルアーツが初期設定した自殺・家出カテゴリに分類する Web サイトへのアクセスや自殺・家出関連単語の検索・書き込みについてブロックした上で管理者へのメール通知を行っていましたが、管理者は自殺・家出以外のルール設定を行うことはできませんでした。

今回の機能拡充により、管理者は自分で指定した検索単語や Web サイトへのアクセスをブロックし、管理者へメール通知できるようになりました。さらに、SNS など特定の Web サービスの利用や端末の利用時間などについても管理者がルールを設定し、そのルール設定に反した場合にはブロックし、メール通知する運用もできるようになります。なお、オンプレミス版の「i-FILTER」Ver.10 では、さまざまなルール設定が可能な同機能は既に提供しております。

見守りフィルターとは、ルール設定に従いブロック・メール通知する機能

変更内容	従来	新機能
管理者でのルール設定	×	○
検索単語	自殺・家出のみ	任意のルール 自殺・家出のみの設定も可能
Webアクセス	自殺・家出のみ	任意のルール 自殺・家出のみの設定も可能
書き込み	自殺・家出のみ	任意のルール 自殺・家出のみの設定も可能
Webサービス毎の設定	×	○
端末利用時間での設定	×	○

具体例

- GoogleハングアウトやTwitterなどで「死ね」と書き込もうとしたら、書き込みをブロック・メール通知
- 夜間にSNSを利用しようとしたら、アクセスをブロック・メール通知

「見守りフィルター」機能拡充の内容

自殺関連単語は学習用端末でもわずか5日間で10件以上も検索されている

全国の児童・生徒に1人1台端末と高速ネットワークを整備する「GIGAスクール構想」は、多くの教育委員会で2020年度内に学習用端末の導入が完了しています。

下の表は、ある教育委員会の生徒が2021年4月19日から23日にGIGAスクール構想を受け配布された学習用端末を使って検索した自殺関連のキーワードです※3。これはデジタルアーツが「i-FILTER@Cloud」GIGAスクール版の「見守りフィルター」を活用して検出したもので、中には興味本位の検索も推察できますが、学習用端末でありながらわずか5日間で10件以上の自殺関連単語が検索されていることがわかりました。

ある教育委員会で検索された自殺関連の単語 (期間：2021年4月19日-23日)

死にたい
死にたい時
しにたい
楽な死に方
苦しまずに死ぬ方法
自殺楽な死に方
自殺方法
楽な自殺の仕方
死ねるなら死にたい
40歳くらいで死にたい 等

家庭ではインターネットにほとんど触れてこなかった児童・生徒も学習用端末の配布によってインターネットにアクセスできるようになりました。もしWebフィルタリングを使っていなければ、児童・生徒は自殺に関するWebサイトにも簡単にアクセスすることができてしまいます。

児童・生徒の自殺は深刻な社会問題です。デジタルアーツの「見守りフィルター」は、自殺関連サイトへアクセスを試みると、「i-FILTER」でブロックするだけでなく、同時に管理者へのメール通知をすることができます。管理者は通知を受けることで、これまで気が付くことができなかった自殺関連サイトへのアクセスを試みた悩みを抱える児童・生徒を発見することが可能となります。児童・生徒の悩みがさらに深刻化する前にいち早く心のケアをすることで、児童・生徒の命を守るための「見守り警報」としての効果も期待できます。

「i-FILTER@Cloud」見守りフィルター、管理者が指定するルール設定が可能に

管理者が指定する単語の追加などができるようになります。

単語：登録件数 36/2000 件	
<input type="text" value="自殺 簡単"/>	<input type="button" value="追加"/>
	<input type="button" value="削除"/> <input type="button" value="編集"/>
1	しにたい
2	一瞬で死ぬ
3	一緒に死にませんか
4	即死する方法
5	楽な死に方
6	楽な自殺
7	楽に死ぬ
8	死にたい
9	死ぬ方法
10	死ぬ方法
11	消えたい
12	痛くない死に方
13	簡単 死に方

※1 文部科学省「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(令和3年10月13日発表)

https://www.mext.go.jp/content/20201015-mext_jidou02-100002753_01.pdf

なお、自殺者の約7割は高校生で、自殺した児童・生徒が置かれていた状況については「不明」が多くを占めています。

※2 文部科学省「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について(通知)」(令和3年10月13日発表)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1422178_00002.htm

※3 当該自治体における高校等の生徒約4万人に配布された学習用端末での検索結果です。

デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。
1995年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限するWebフィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー14F

URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お問い合わせ先は下記とさせていただきます
デジタルアーツ株式会社 広報担当 山田 (TEL: 090-1555-7254 / E-mail: press@daj.co.jp)

- ※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER Anti-Virus、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、DアラートおよびDコンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。
- ※ その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の登録商標または商標です。